

カンボジア 村の幼稚園 子どもたちの成長を支える 「ゆでたまご募金」



■「認定NPO法人幼い難民を考える会」がカンボジア農村地域ですすめる「村の幼稚園事業」。通ってくる子どもたちの大きな楽しみはおやつです。毎日のクッキー等に加え、栄養補助として月に2回、ゆで卵と豆乳のおやつを食べています。



■なぜ、ゆで卵？

- ①お菓子を配ると自宅に持ち帰り家族と分けて食べることもあるため、その場で食べるゆで卵はその子自身の貴重なたんぱく源となります。
- ②ゆで卵をむく行為が「手の訓練」になります。
- ③殻を用意した皿に入れ友達と「楽しくきれいに食べる習慣」を身につけることができます。

■WE21 ジャパン厚木の今年度「貧困なくそうキャンペーン」はこの「ゆで卵募金」に取り組み、**41,070円**のご寄付がありました。(期間：10/1～31)
お母さんと来店された小さなお子さんが持参したお金を募金箱に入れて下さったり、職場で声かけし集めて下さった方など、たくさんのご協力を頂きました。



■ゆで卵は幼稚園の先生が準備

一人一個、人数分の卵を市場で買い、茹でて幼稚園に持って行きます。

■必要な経費は？

10か所の村の幼稚園/約300名の子ども達に「毎日のクッキー、月に2回のゆで卵と豆乳のおやつを提供するために必要な額は年間約73万円。一人一ヵ月約136円が必要です。
(2021年度実績)

ウクライナ支援



平和を祈る折紙作品の寄付

■昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻。

早々に設置した店頭募金や呼びかけにご協力を頂き、現地で活動する「NPO法人アドラジャパン」に下記金額を寄付致しました。ウクライナの人々に一日も早く平和が戻ることを祈るばかりです。

・店頭募金	： 47,105円	}	267,005円
・個人からの寄付金	： 189,900円		
・WE21厚木緊急支援金	： 30,000円		
			(2022/10月末現在)